

福島市保健所 感染症だより



7月28日は日本肝炎デー

早期発見

一生に一度は**肝炎ウイルス検査**を受けて**重症化**を**予防**！

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。

国内の感染者数は **200 万人**を超えると推定されています。

感染を確認する唯一の方法は**血液検査**です。

検査による早期発見と、その後の適切な治療で、肝硬変や肝がんへの重症化を予防できます。

●肝炎ウイルスに感染すると



●肝炎ウイルス検査の受けかた (受けたことがないかたが対象です)

年度内 39歳以下 のかた	・ 保健所 ・ 委託医療機関 (保健所へ問い合わせ)
年度内 40歳以上 のかた	・ 市の肝炎ウイルス検診

妊婦健診や**手術前検査**で
すでに検査を受けている場合は
結果を確認しましょう

詳しくは **福島市 肝炎検査** で検索

●肝炎ウイルスに感染していた場合

早めに精密検査(血液検査や超音波検査など)で、肝臓の状態を調べましょう！

精密検査費用の助成が受けられます

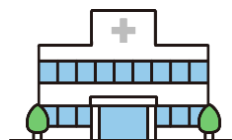
※請求日から1年以内の市・職場の検診、妊婦健診、手術前検査で陽性になったかたなど一定の要件があります

『**すぐには治療しなくてよい**』と診断

定期的に医療機関を受診し、
異常がないことを確認

『**治療が必要**』と診断

肝臓専門医(消化器内科等)を受診し、
治療について相談



詳しくは **福島市 肝炎精密検査** または **福島市 肝炎治療** で検索

●感染リスクの**高い行為**

肝炎ウイルスに感染している人の血液や体液に
接触することで感染します

- ・ 性交渉
- ・ 歯ブラシやカミソリの共用
- ・ 母子感染
- ・ 入れ墨やピアスなどの不適切な処置

●こんなことでは**感染しません**

- ・ 会食や会話、握手
- ・ 入浴やプール
- ・ 食器の共有
- ・ トイレの便座
- ・ つり革や手すりの接触

感染予防の方法や感染の心配がない行為など、ウイルス性肝炎について正しく理解して、
偏見や差別をなくしましょう

夏に流行しやすい感染症にご注意ください！

●咽頭結膜熱(プール熱)

【潜伏期間】5～7日

【症状】発熱、のどの痛み、結膜炎

【感染経路】飛沫感染、接触感染

●ヘルパンギーナ

【潜伏期間】2～4日

【症状】発熱、のどの痛み、食欲不振等

【感染経路】接触感染、糞口感染(※)

●手足口病

【潜伏期間】3～5日

【症状】2～3mmの水疱を伴う発しん

(口の中や手のひら、足の底等)

【感染経路】飛沫感染、接触感染、糞口感染(※)

発症後しばらくの間、便からウイルスが排せつされるため、
オムツ交換後はしっかり手を洗いましょう

(※) 糞口感染 : 便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること

◎予防

☑流水と石けんによるこまめな手洗いが重要

☑咳エチケット、場面や症状に応じたマスクの着用も大切

重症化することもあるため、軽微な症状でも学校等を休み、早めに医療機関に相談・受診しましょう

結核の症状は、呼吸器症状だけではありません！

福島市では、毎年20人前後の患者が発生しており、高齢者に多く発生しています。

●肺結核の主な症状

□長く続く咳 □痰 □発熱

高齢者は発病してもはっきりした症状が出にくいいため、
**夏バテ症状と見分けがつきにくく、
悪化してから判明する**場合があります。

●注意が必要な症状

□食欲低下 □体重減少 □全身のだるさ □微熱 □なんとなく元気がない

●症状が2週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう

●65歳以上の方は、市民検診(肺がん検診)が結核健診を兼ねています 受診日当日に70歳以上の方は無料！

・はっきりした症状がなくても、胸部レントゲン検査により結核を早期に発見できます。

・結核健診を受けたことがないかた、定期的に胸部レントゲン検査を受ける機会がないかたは、ぜひ市民検診をご活用ください。

市民検診(福島市 HP)
実施期間: 6/1～10/31



夏休みに海外旅行へ行く皆さんへ

海外には、国内に存在しない感染症や高い頻度で発生している感染症があります。

これまでに自分が接種した予防接種を母子手帳などで確認し

渡航前に必要なものは、余裕をもって接種しましょう。

〈厚生労働省 FORTH〉
海外へ渡航される皆様へ！



発行日：令和7年6月30日 発行：福島市保健所 感染症・疾病対策課
住所：〒960-8002 福島県福島市森合町10-1
電話番号：感染症対策係 024-572-3152